

令和6年度コミュニティ・プラットフォーム形成地域における モデル的な取組創出「取組テーマ」一覧

鹿児島県では、地域の多様な主体が連携・協力して地域課題の解決を図る地域コミュニティ「コミュニティ・プラットフォーム（コミプラ）」づくりに向けた市町村や地域の取組を促進しています。

その一環として、複雑・多様化する地域課題を解決するため、コミプラ形成地域において、県と市町村、コミプラ、NPO法人等（受託団体）がそれぞれの特性を生かして協働で地域課題解決（※以下の取組テーマ）に取り組むモデル的な事業の企画提案を募集します。

	市町村	取組テーマ	背景・地域課題
1	鹿児島市 (地域づくり推進課) (桜島総務市民課) 【連絡先①】	DX等の活用による交通弱者の食・医療・社会活動等の機会の拡大	<p>桜島地域の人口は、合併時（H16）と比較するとほぼ半減し、65歳以上の割合は51%となっている。</p> <p>急速な高齢化や人口減少により、近所の商店などの減少、路線バスや桜島フェリーの減便や運賃上昇など、交通弱者にとって生活環境が衰退していることから、高齢者をはじめとする地域住民に買物困難や遠地にある医療機関受診等の際の負担増、交流機会（コミュニティ活動）の減少などの生活課題が生じている。</p> <p>解決策として、コミプラでは住民互助運送等による移動手段の確保など検討しているところであり、運営にあたっては、高齢者も使いやすいマッチングシステムなどDX活用等により利用しやすいシステムや環境の創設に取り組む必要がある。</p>
2	志布志市 (コミュニティ推進課) 【連絡先②】	デジタルを活用した地域コミュニティの情報伝達構築や担い手の負担軽減などデジタル社会の実現に向けた持続可能な地域づくり	<p>少子高齢化と人口減少の同時進行による地域活動の低下や担い手不足、生活スタイルの多様化や情報化社会の発展する中、多様化する地域の課題解決、人材不足の補完、魅力向上につなげる手段としてデジタル視点は重要となっている。</p> <p>そのような中で特に高齢者を中心にインターネット及びスマートフォン等 ICT や情報通信機器を利用できていないという状況があり、デジタル弱者の解消や地域間の情報格差の是正、地域と行政の連携強化や地域活性化は、本市の課題となっている。</p> <p>そこでスマートフォン等の ICT 活用により、地域コミュニティにおける組織運営や緊急時のホットライン、住民ネットワークの構築を図り、「誰一人取り残さない」デジタル社会の実現に向けて取り組む必要がある。</p>

	市町村	取組テーマ	背景・地域課題
3	伊佐市 (地域振興課) 【連絡先③】	多様な人材の参画するコミュニティ協議会の組織づくりによる、持続可能な地域活動の創造	<p>高齢化と少子化等により自治会や校区コミュニティ協議会においても、事業等の運営が人的経済的に難しくなっているが、校区コミュニティ協議会に対する住民の期待はまだまだ高い。しかし、現状においても一部の役員等への負担が増加している状況であり、このまま役員の負担ばかり増えていけば、組織の維持にも支障をきたす恐れがある。</p> <p>そのため、校区住民の多様な参画によるワークショップ等の実施により、人口や財源の減少した現状に合う校区事業等の見直しや体制見直しを行う必要がある。</p>

【連絡先一覧】

連絡先番号	市町村 (担当課・担当係名)	連絡先
①	鹿児島市 桜島総務市民課 地域振興係	電話番号: 099-293-2346 FAX番号: 099-293-3744 E-mail: sakurasoumu@city.kagoshima.lg.jp
②	志布志市 コミュニティ推進課 地域コミュニティ係	電話番号: 099-472-1111 (内線354) FAX番号: 099-473-2203 E-mail: chiikicommunity@city.shibushi.lg.jp
③	伊佐市 地域振興課 コミュニティ活力推進係	電話番号: 0995-29-4113 (直通) FAX番号: 0995-22-9420 E-mail: commu@city.isa.lg.jp